

2023年12月28日

「パリ 2024 パラリンピック競技大会」水泳競技 日本代表推薦選手選考方針と基準について

(一社) 日本パラ水泳連盟
(一社) 日本知的障害者水泳連盟

I 選考方針

2023年7月6日付公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会（以下「JPC」という）の「日本代表選手団編成方針」を基に、メダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考することを基本とする。

選考にあたっては、社会規範を遵守し、公平性・誠実性・協調性にに基づき行動できる選手を、2024年3月10日開催予定のパリ 2024 パラリンピック競技大会水泳競技日本代表推薦選手選考委員会（以下「選考委員会」という）が選考し、日本パラ水泳連盟（以下「JPSF」という）登録選手は日本パラ水泳連盟の運営委員会、日本知的障害者水泳連盟（以下「JSFP」という）登録選手は日本知的障害者水泳連盟の常務理事会の承認を経て、JPCへ推薦する。

II 選考基準

1. 個人種目・リレー種目共にメダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考する。
2. 2024年2月16日に、世界パラ水泳連盟 World Para Swimming（以下「WPS」という）から配分される枠数の範囲内（男女別）で選考する。枠の追加配分があった場合は、別途検討する。
3. 「2024 日本パラ水泳春季チャレンジレース兼パリ 2024 パラリンピック水泳競技日本代表推薦選手選考競技会（以下「2024 選考会」という）」において派遣基準記録を突破した選手を選考する。但し、選考された選手のうち、国際パラリンピック委員会 International Paralympic Committee（以下、「IPC」という）が定めるパリ 2024 パラリンピック競技大会出場資格*1を「2024 選考会」時点で満たしていない選手に関する推薦は「保留扱い」*2とし、2024年6月30日までに出場資格を満たした上で推薦決定とする。
4. JPSF 登録選手は、2024年2月29日（木）までに、「パリ 2024 パラリンピック日本代表推薦選手選考審査申請書」を「選考委員会」に提出した選手を選考対象とする。

III 第1選考

「選考委員会」において、2024年3月9日から10日にかけて開催予定の「2024 選考会」の記録により、派遣基準記録を突破した選手・リレーチームを選考する。

1. 個人種目選考基準

(ア) 派遣 A 基準記録

派遣 A 基準記録は、メダル獲得の可能性を基準として設定した。

派遣 A 基準 記録算出根拠	東京 2020 パラリンピック予選決勝の 4 位記録（いずれか速 い記録）と、WPS が 2023 年 12 月 12 日に公表した 2023WPS 世界ランキング* ³ 4 位記録を比較して、速い記録を採用。
-------------------	--

* 2023WPS 世界ランキングは 1 カ国 3 名まで*³に整理したものを採用する。

(イ) 派遣 B 基準記録

派遣 B 基準記録は、入賞の可能性を基準として設定した。

派遣 B 基準 記録算出根拠	東京 2020 パラリンピック予選決勝の 8 位記録（いずれか速 い記録）と、WPS が 2023 年 12 月 12 日に公表した 2023WPS 世界ランキング* ³ 8 位記録を比較して、速い記録を採用。
-------------------	--

* 8 人以下の種目はマイナス 1 *⁴の順位（記録）を採用する。

* この記録がパリ 2024MQS 記録に満たない場合は、パリ 2024MQS 記録よりも速い直近の順位（記録）*⁵を採用する。

(ウ) 派遣基準記録突破に際しての優先順位等について

- ① 派遣 A 基準記録を突破した選手は、即時推薦内定選手とする。
- ② 派遣基準記録を突破した選手の優先順位は、派遣 A 基準記録に対する「到達率」*⁶のより高い選手から順に順位づける。この順位付けは男女別に行う。
- ③ 派遣基準記録を突破した選手数が、II 2.の参加枠数を超えた場合は、②に順位に従いより順位の高い選手から順に選考される。この順位付けは、男女別に行う。
- ④ パリ 2024 パラリンピック水泳競技個人種目エントリー数について、「NPC（国）は、メダル対象の個人種目 1 種目につき出場資格のある選手を最大 3 名までエントリーすることができる」となっているため、同種目において派遣基準記録を突破した選手が 4 名以上いる場合には、上位 3 名を選考する。
- ⑤ ③において、同タイムの選手が複数存在するために上位 3 名を決定する事が出来ないときは、「推薦順位決定レース」により決定する。実施方法は JPSF・JSFP のハイパフォーマンスディレクター（以下「HPD」という）の裁量により決定する。

(エ) 「2024 選考会」までに推薦内定した選手の選考について

- ① マンチェスター2023WPS 世界選手権にて優勝し、推薦内定を与えられた 1 名の選手（山口尚秀）は、推薦内定を獲得した種目で「2024 選考会」に出場することにより、推薦内定種目の推薦が決定する。
- ② ①推薦内定選手が、「2024 選考会」になんらかの理由により出場できなかった場合

は、選考委員会にて推薦の可否を審議、決定する。

2. リレー種目選考基準

(ア) リレー派遣 A 基準記録

リレー派遣 A 基準記録は、メダル獲得の可能性を基準として設定した。

リレー派遣 A 基準記録算出根拠		
従来種目	20pts 混合フリーリレー	東京 2020 予選決勝 4 位（いずれか速い記録）と、2022WPS 世界ランキング、及び 2023WPS 世界ランキングをコンバインした 4 位記録とを比較して、速い記録を採用
	49pts 混合フリーリレー	
	S14 混合フリーリレー	
新種目	34pts 混合フリーリレー	2022WPS 世界ランキング、及び 2023WPS 世界ランキングをコンバインした 3 位記録を採用
	34pts 混合メドレーリレー	
	20pts 混合メドレーリレー	

* 新種目については従来種目と比べて記録算出根拠となる基準記録が限定される（2022 年以降の記録のみ）ことから、従来種目よりも順位を 1 つ高い設定とした

(イ) リレー派遣 B 基準記録

リレー派遣 B 基準記録は、入賞の可能性を基準として設定した。

リレー派遣 B 基準記録算出根拠		
従来種目	20pts 混合フリーリレー	東京 2020 予選決勝 8 位（いずれか速い記録）と、2022WPS 世界ランキング、及び 2023WPS 世界ランキングをコンバインした 8 位記録とを比較して、速い記録を採用
	49pts 混合フリーリレー	
	S14 混合フリーリレー	
新種目	34pts 混合フリーリレー	2022WPS 世界ランキング、及び 2023WPS 世界ランキングをコンバインした 7 位記録を採用
	34pts 混合メドレーリレー	
	20pts 混合メドレーリレー	

* 新種目については従来種目と比べて記録算出根拠となる基準記録が限定される（2022 年以降の記録のみ）ことから、従来種目よりも順位を 1 つ高い設定とした

* 算出根拠となる記録が 8 位（チーム）以下の種目はマイナス 1（チーム）^{*4}の順位（記録）を採用。

* この記録がパリ 2024MQS 記録に満たない場合は、パリ 2024MQS 記録よりも速い直近の順位（記録）^{*5}を採用する。

(ウ) リレー派遣基準記録突破に際しての対象選手の選考方法と優先順位等について

- ① 2022年10月1日以降、2024年3月10日まで（この日を含む）の期間に、WPS公認大会でパリ2024MQSを個人種目で突破している選手の中で、「2024選考会」で実施のリレー種目の対象となる個人種目に出場した選手を対象とする。
- ② パリ2024パラリンピック水泳競技個人種目エントリー数について、「NPC（国）は、メダル対象の個人種目1種目につき出場資格のある選手を最大3名までエントリーすることができる」となっており、尚且つ「リレーのメンバーは、個人種目で最低1種目にエントリーしている選手から選出しなければならない」となっているため、リレー選考対象となる選手は、個人種目において1カ国最大3名までの対象に入っている必要がある。
- ③ 「2024選考会」のリレー種目の対象となる個人種目の記録を基準に、①②を満たした各クラス上位選手から記録順にリストアップする。
- ④ ③の結果、同クラスに同タイムの選手が複数存在するために、順位付けが出来ない場合、「推薦順位決定レース」を実施する。実施方法はJPSF・JSFPのHPDの裁量により決定する。
- ⑤ ③のリストを基準に、リレー種目ごとに4名の合計記録で最も速い組み合わせのチームを編成する。
- ⑥ ⑤で編成されたチームに該当する選手4名の合計記録が、派遣基準記録を突破しており、選手4名がIPCの定めるパリ2024パラリンピック競技大会出場資格^{*1}を満たしている場合は、「選考委員会」により推薦内定チーム（選手）とする。
- ⑦ ⑤で編成されたチームの選手の中でIPCの出場資格^{*1}を満たしていない選手が1人でも該当している場合、2024年6月30日までに出場資格を満たすまで、対象となるリレー種目の該当選手は「保留扱い」^{*2}とする。
- ⑧ リレー派遣A基準記録突破チームの優先順位は最優先とし、リレー派遣B基準記録を突破したチームが複数となった場合、派遣A基準記録への「到達率」^{*6}のより高いリレーチームから順位づけを行う。

3. 個人種目とリレー種目の選考の順位付け

- ① 派遣基準記録を突破した個人・リレーチーム（選手）は、個人種目とリレー種目（チーム）の区分けなく、III.1（ウ）の優先順に従って順位づける。
- ② 次に、派遣B基準記録を突破した選手・リレーチーム（選手）数が、II 2.の参加枠数を超えた場合は、派遣A基準記録への「到達率」^{*6}のより高い選手・リレーチームから順に選考される。この順位付けは、男女別に行うが、リレー種目については男女混合種目のため、男女両方^{*7}に順位付ける。
- ③ ②の結果、リレー種目に該当する男女いずれかがII 2.の参加枠を超えた場合、対象となるリレーチーム（選手）は選考されない。

IV 第2選考

「選考委員会」において、第1選考の後、II.2.の参加枠が余った場合、その時点で下記に示す基準を満たしている選手の中から個人種目のみ選考する。選考対象選手と優先順位は以下の通りとする。

- ① 「2024選考会」において、パリ 2024MQS を突破した選手。
- ② 第2選考の優先順位は、派遣 B 基準記録への「到達率」のより高い選手から順に選考する。この順位付けは、男女別に行う。
- ③ 「2024選考会」で「パリ MQS 突破再チャレンジレース」により MQS を突破した選手。ただし、「2024選考会」実施の競技種目内で MQS を突破した選手を優先し、優先順位はその次点とする。

V 第3選考

「選考委員会」において、第2選考の後、II.2.の参加枠が余った場合、2022年10月1日以降、2024年3月8日までに WPS 公認大会でパリ 2024MQS を突破している選手から上記のIV.②に則って個人種目のみ選考する。

VI 補欠選考について

(ア)選考方法

- ① 「選考委員会」において、2022年10月1日～2024年3月10日までに WPS 公認大会でパリ MQS を突破している選手から補欠男女各2名を選考する。
- ② 補欠選考の優先順位は、IV.②に則って選考する。
- ③ 第3選考を終えた時点で「保留扱い」選手がいる場合、男女それぞれの保留扱い選手と同数を、「補欠」として追加選考する。

(イ)有効期間

- ① 選考結果を公表した日から2024年8月5日12:00までとする。この日までに、代表選手の辞退等があった場合は代表選手に繰り上げて選考するが、辞退等がない場合はこの日をもって補欠選手は落選となる。
- ② 上記VI.(ア).③については、2024年3月11日から6月30日（この日を含む）までとする。

2024年6月30日までに「保留扱い」選手が出場資格を満たして推薦決定した場合は、その日をもって追加された補欠選手は落選となる*2。「保留扱い」選手が2024年6月30日までに出場資格を満たせなかった場合は、補欠が順次繰り上がり推薦決定となる。

*リレー種目により選出された選手が辞退した場合、該当リレー種目で選出された他の選手の決定を取り消すことはしない。

Ⅶ 選考に前後して必要な準備と日程

推薦選手が決定される前後に、対象となる選手は準備として WPS、JPC、JPSF/JSFP に対して様々な手続きが必要である。正式には別途通知するが、概ねその時期や、提出書類及びその対象選手は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない選手は、推薦を辞退したものとして取扱う。

- (ア)パリ 2024 パラリンピック競技大会出場資格を満たすための手続き*1
- (イ)JPSF 登録選手は、2024 年 2 月 29 日（木）までに、「パリ 2024 パラリンピック日本代表推薦選手選考審査申請書」を「選考委員会」に提出
- (ウ)2024 年 3 月 10 日代表推薦選手の決定以降速やかにパリ 2024 パラリンピックの水泳競技エントリー種目等の調査
- (エ)2024 年 3 月～4 月
 - ① 日本選手団公式ユニフォームの採寸（対象選手に通知する）
 - ② 健康診断の提出。（対象選手に通知する）
- (オ)2024 年 4 月末
 - ① パリ 2024 パラリンピックのアクレディテーション関係書類の提出
 - ② パリ 2024 パラリンピックの推薦調書関係書類の提出

Ⅷ その他

この方針に定めのない事項が生じた場合は、選考委員会で審議し決定する。

*1 パリ 2024 パラリンピック競技大会出場資格 (PARIS 2024 PARALYMPIC GAMES QUALIFICATION REGULATIONS NOVEMBER 2023 より抜粋)

各 NPC が選手を選考するにあたり、選手は以下の出場資格要件を満たしていなくてはならない

- ① 2024 年シーズンに有効な WPS アスリートライセンスを保持していること
- ② 2024 年 6 月 30 日までに、国際クラス分け受検の上有効な競技クラスとステイタスが (確定”Confirmed”または見直し”Review”で見直し指定期日が 2025 年またはそれ以降) であること
- ③ 2022 年 10 月 1 日から 2024 年 7 月 28 日 (28 日を含む) の間に、(WPS 競技規則・規定に定義されている) WPS 公認の (50m) 長水路競技会において、対象各種目 (リレー種目を含む) で参加標準記録 (“MQS”) を達成していること
- ④ 2022-2024 シーズン有効なアスリートライセンス規定に従い MQS を達成していること
- ⑤ (i)2022 年 10 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日 (30 日を含む) の間に開催される WPS ワールドシリーズ大会に最低 1 戦出場していること
(ii)2022 年 10 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日 (30 日を含む) の間に、以下の競技会のうち最低 1 戦に出場していること
 - ・ WPS 世界選手権大会
 - ・ WPS の地域選手権大会または WPS 地域オープン選手権大会
 - ・ 2022 年アジアパラ競技会、もしくは
 - ・ 2023 年パラパンアメリカ競技会

*2 「2024 選考会」までに出場資格を満たしていない場合、「2024 選考会」にて派遣基準記録を突破しても「保留扱い」となる。第 2 選考以降においても同様の扱いとなる。その場合の選考順位付けは以下左の図の通りとなる。その後、出場資格を満たした場合は以下右の図の通りとなる。(2024 年 6 月 30 日まで有効)

例示

2024年3月10日時点での選考順位付け						2024年6月30日までに保留選手が出場資格を満たした場合							
選考会の結果	派遣基準	MQS	出場資格	推薦		選考会の結果	派遣基準	MQS	出場資格	推薦			
1	A選手	突破	突破	○	決定	1	A選手	突破	突破	○	決定		
2	B選手	突破	突破	○	決定	2	B選手	突破	突破	○	決定		
3	C選手	突破	突破	○	決定	3	C選手	突破	突破	○	決定		
4	D選手	突破	突破	○	決定	4	D選手	突破	突破	○	決定		
5	E選手	突破	突破	○	決定	5	E選手	突破	突破	○	決定		
6	F選手	突破	突破	○	決定	6	F選手	突破	突破	○	決定		
7	G選手	突破	突破	未	保留	←派遣基準突破したが出場資格を満たしていない為、保留	7	G選手	突破	突破	○	決定	←推薦決定
8	H選手	突破	突破	○	決定	8	H選手	突破	突破	○	決定		
9	I選手	x	突破	○	決定	9	I選手	x	突破	○	決定		
?	J選手	x	突破	未	保留	←MQSを突破したが出場資格を満たしていない為、保留	?	J選手	x	突破	○	決定	←推薦決定
XX	K選手	x	突破	○	決定	XX	K選手	x	突破	○	決定		
補欠1	M選手	x	突破	○	補欠	補欠1	M選手	x	突破	○	補欠		
補欠2	N選手	x	突破	○	補欠	補欠2	N選手	x	突破	○	補欠		
補欠3	O選手	x	突破	○	補欠	←保留選手が2名の為、補欠は2名追加となる	補欠3	O選手	x	突破	○	落選	←6月30日までに落選となる
補欠4	P選手	x	突破	○	補欠	補欠4	P選手	x	突破	○	落選		

*3 パリ 2024 パラリンピック水泳競技の資格規定には、「NPC（国）は、メダル対象の個人種目 1 種目につき出場資格のある選手を最大 3 名までエントリーすることができる」とされている。その為、MQS ランキング 1 種目につき同じ NPC（国）の選手が 4 名以上いる場合は、1 カ国につき上位 3 名までに絞ったランキングを採用する。

2023WPS世界ランキング			1カ国につき3名のMQSランキング		
1	A選手	CHN	1	A選手	CHN
2	B選手	CHN	2	B選手	CHN
3	C選手	CHN	3	C選手	CHN
4	D選手	CHN	4	E選手	GBR
5	E選手	GBR	5	F選手	USA
6	F選手	USA	6	G選手	ITA
7	G選手	ITA	7	H選手	CAN
8	H選手	CAN	8	I選手	AUS
9	I選手	AUS	9	J選手	AUS
10	J選手	AUS	10	K選手	GER

← 4人目になる為、ランキングから除外する

1カ国につき3名に絞る

以下の選手は繰り上がる

*4 マイナス 1 とは

パラリンピック本大会の表彰対象では、メダル対象種目に 3 名以下の出場の場合はマイナス 1 として 2 つのメダルが授与されることになり、3 位（最下位）はメダル対象から除外される。

この方法を派遣基準記録算出の際にも採用し、対象記録が 8 人以下の場合は最下位の記録を除いた順位（記録）を採用する。

*5 パリ 2024MQS に満たない場合は直近の順位（記録）を採用（リレーも同様）

順位	算出根拠のランキング
1	25.00
2	26.00
3	27.00
4	28.00
5	29.00
6	30.00
7	31.00 ←直近の順位（記録）を派遣B基準記録として採用
8	32.00 ←MQSより遅い
9	33.00
10	34.00

*6 派遣基準記録への到達率による優先順位の設定方法（リレーも同様）

派遣突破選手の優先順位付け					
優先順位	派遣突破	MQS	記録	到達率	
1	A選手	A	1:00.50	103.50%	←派遣Aに対する到達率
1	B選手	A	0:49.50	101.10%	"
1	C選手	A	1:05.00	100.50%	"
1	D選手	A	1:02.00	100.10%	"
5	E選手	B	1:10.50	99.99%	"
6	F選手	B	35.30	99.50%	"
7	G選手	B	2:38.50	98.80%	"
8	H選手	B	42.00	97.50%	"
9	I選手	MQS	1:28.50	99.95%	←派遣Bに対する到達率
10	J選手	MQS	2:24.00	99.35%	"
11	K選手	MQS	26.20	99.30%	"

*7 個人とリレーの優先順位づけについて、リレー種目については男女混合種目のため、男女両方*6に順位付ける。

男子優先順位					女子優先順位				
優先順位	派遣突破	MQS	記録	到達率	優先順位	派遣突破	MQS	記録	到達率
1	A選手	A			1	AA選手	A		
1	B選手	A			1	BB選手	A		
1	C選手	A			1	CC選手	A		
1	E選手	A			4	EE選手	B	37.00	99.60%
5	F選手	B	1:10.50	99.99%	5	20pts MR MM選手	B	4:40.00	99.30%
6	G選手	B	35.30	99.50%	5	20pts MR SS選手	B	4:40.00	99.30%
7	20pts MR M選手	B	4:40.00	99.30%	7	HH選手	B	1:14.00	98.96%
7	20pts MR S選手	B	4:40.00	99.30%	8	II選手	MQS	3:05.00	99.80%
9	I選手	B	42.00	97.50%	9	JK選手	MQS	34.50	99.70%
10	J選手	MQS	1:28.50	99.95%	10	KK選手	MQS	1:17.00	98.80%
11	K選手	MQS	2:24.00	99.35%					
12	OK選手	MQS	26.20	98.30%					

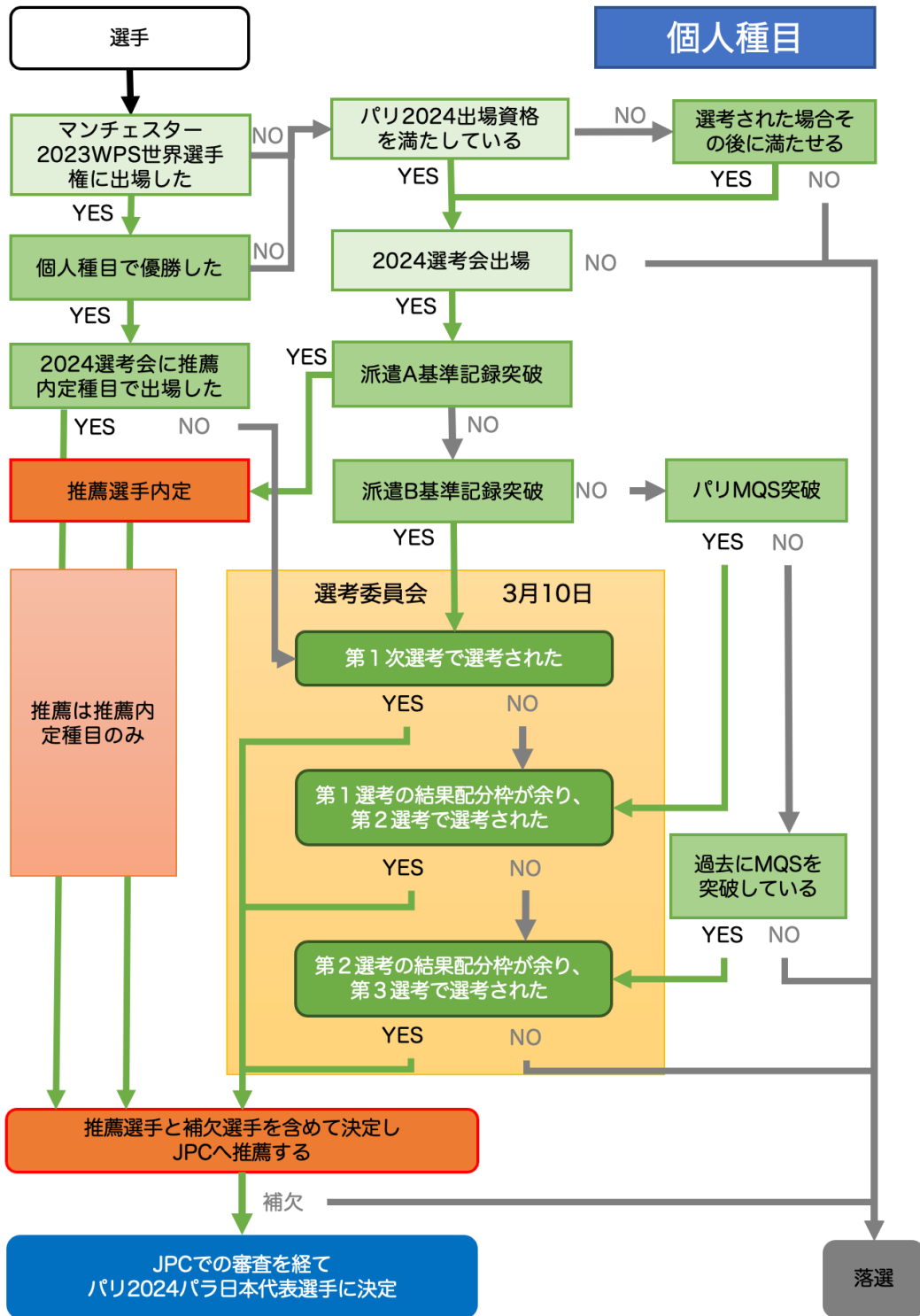
参考—

(ア)2023年7月6日付 日本パラリンピック委員会

パリ2024パラリンピック競技大会日本代表選手団方針及び選手選考・決定手順

(イ)パリ2024水泳競技出場資格・メダル配分・日程など基準参考翻訳及び英文

別紙1) 選考までの概要フローチャート (個人種目)



別紙2) 選考までの概要フローチャート (リレー種目)

